

SPIVA® 日本スコアカード

CONTRIBUTOR

Priscilla Luk
Senior Director
Global Research & Design
priscilla.luk@spdji.com

概要

- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは2002年にSPIVA米国スコアカードを最初に発行しました。それ以来、このスコアカードはパッシブ運用とアクティブ運用の議論において高い注目を集める調査となっています。弊社はこれまで10年以上にわたって積み上げてきた経験を生かし、ここ数年でスコアカードの対象をオーストラリア、カナダ、欧州、インド、そして日本に拡充しました。このレポートでは、主にSPIVA日本スコアカードの結果を紹介しています。このレポートにより、パッシブ運用とアクティブ運用に関する議論が決着するわけではありませんが、各市場セグメントの中でどちらの運用 戦略が有効に機能したかを調査することにより、有益な情報を提供できるものと期待しています。
- SPIVA日本スコアカードでは、アクティブに運用されている日本の投資信託についてそれぞれのベンチマーク指数に対するパフォーマンスを1年、3年、5年の投資期間にわたり報告します。このスコアカードでは、592以上の日本の大型株、中型株、小型株の株式投資信託についてリターンを評価しました。また、グローバル市場、国際市場、新興国市場、及び米国株式市場を投資対象とする778以上の国際株式型ファンドについてもリターンを評価しました。
- **国内株式ファンド:** 日本の株式市場は、2015年6月末までの12ヶ月間において非常に堅調な展開となりました。S&P/TOPIX 150指数、S&P日本中型株100指数、S&P日本小型株250指数はそれぞれ31.9%、30.8%、33.0%のリターンとなりました。一方、アクティブ・ファンドのパフォーマンスをみると、日本の大型株ファンドの71.6%、中型株ファンドの55.2%、小型株ファンドの81.3%は同期間にそれぞれのベンチマークをアンダーパフォームしました。3年及び5年の期間で見ても、日本の大型株ファンドの60%以上はS&P/TOPIX 150指数をアンダーパフォームしています。一方、日本の小型株ファンドは比較的良好なパフォーマンスとなっており、半分以上がS&P日本小型株250指数をアウトパフォームしています。
- **外国株式ファンド:** 外国株式市場も過去12ヶ月間において好調なパフォーマンスとなりましたが、上げ幅は日本の株式市場ほど大幅なものではありませんでした。過去1年の外国株式アクティブ・ファンドのパフォーマンスを見ると、米国株式ファンドの87.8%、グローバル株式ファンドの81.5%、国際株式ファンド(グローバル株式ファンド(除く日本))の63%、新興国株式ファンドの61.1%がそれぞれのベンチマークを下回っています。過去5年の期間で見ると、ベンチマークを下回ったファンドの割合はさらに上昇しており、米国株式ファンド、グローバル株式ファンド、国際株式ファンド(グローバル株式ファンド(除く日本))の90%以上がそれぞれのベンチマークをアンダーパフォームしています。一方、新興国株式ファンドは比較的好調なパフォーマンスとなりましたが、それでも過去5年の期間で65.6%がS&P エマージング総合指数をアンダーパフォームしています。

- **ファンドの生存率:** 過去1年の期間では、国際株式ファンドだけが100%の生存率を達成しました。同期間において、新興国株式ファンド、グローバル株式ファンド、日本大型株ファンドの5%以上が生き残ることができませんでした。過去5年の期間では、新興国株式ファンド及びグローバル株式ファンドが最も高い生存率を示し、生存率はそれぞれ88.1%、81.6%となりました。日本の中型株ファンド及び小型株ファンドの生存率が最も低く、それぞれ28.4%及び27.6%が過去5年以内に清算または統合されました。
- **均等加重ファンドの平均リターン:** 過去1年間に於いて、全てのファンド・カテゴリーの均等加重平均リターンはそれぞれのベンチマークのリターンを下回りました。米国株式ファンド及びグローバル株式ファンドはベンチマークをそれぞれ17.4%及び11.7%アンダーパフォームしました。これに対し、日本の大型株ファンド及び中型株ファンドはそれぞれ1.7%及び1.1%のアンダーパフォーマンスにとどまりました。5年の期間では、全ての日本株ファンド・カテゴリーがベンチマークよりも高い均等加重平均リターンを上げました。日本の小型株ファンドが最も高いリターンを上げ、1年当たり3%の超過リターンを生み出しました。一方、日本以外の全ての株式ファンドはそれぞれのベンチマークよりも低い均等加重平均リターンにとどまりました。米国株式ファンドが最低の相対リターンとなり、S&P 500を1年当たり7.7%アンダーパフォームしました。
- **資産加重ファンドの平均リターン:** 過去1年間に於いて、全てのファンド・カテゴリーの資産加重平均リターンはそれぞれのベンチマークのリターンを下回りました。グローバル株式ファンド及び国際株式ファンド以外の資産加重平均リターンは、全ての測定期間において全てのファンド・カテゴリーのそれぞれの均等加重平均リターンを下回り、ほとんどの同種のファンドの中で規模の小さなファンドの方が規模の大きなファンドよりも良好なパフォーマンスを上げたことを示しています。5年の期間では、日本の小型株ファンド及び中型株ファンドの資産加重平均リターンは、それぞれのベンチマークをやや上回りました。

アクティブ運用とパッシブ運用の議論に対する独自のスコアカード

インデックス運用とアクティブ運用の議論に関して目新しいものは何もありません。これは何十年にもわたり議論されているテーマであり、どちらか一方を強く支持する投資家は少なく、ほとんどはインデックス運用とアクティブ運用の中間に位置しています。12年前に SPIVA スコアカードを発行して以来、このスコアカードはパッシブ運用とアクティブ運用の議論において大きな注目を集めてきました。ここ10年にわたり、スコアカードの主な数値が両サイドの見解と異なる内容となった場合、両方の支持者から熱狂的な議論が巻き起こりました。

SPIVA スコアカードにおいて広く引用されている主要数値以外にも豊富なデータセットがあり、これらのデータは測定手法や、ユニバース構成、ファンドの生存などに関連しています。これらのデータセットが議論される機会は少ないものの、実際には非常に興味深い内容となっています。これらのデータセットは、次に列挙する SPIVA スコアカードの基本原則に関するものであり、スコアカードでは定期的にこの情報を提供しています。

- **生存バイアスの補正:** 多くのファンドは調査対象期間中に清算または統合される可能性があります。しかし、調査対象期間の開始時点で投資判断を行う者にとっては、後に清算または統合されることになるファンドも投資対象に含まれています。一般に入手可能なその他の比較レポートとは異なり、SPIVA スコアカードでは、生き残ったファンドだけでなく、清算または統合されたファンドも調査対象に含まれます。したがって、生存バイアスを排除することができます。
- **同一条件での比較:** ファンドのリターンは、ファンドの投資カテゴリーにかかわらず、一般的なベンチマークと比較される場合が多いと言えます。SPIVA 日本スコアカードでは、同一のファンド・カテゴリーのベンチマークを使ってファンドのリターンを測定することにより、適切な比較を行っています。
- **資産加重リターン:** ファンド・グループの平均リターンは、均等加重方式だけを用いて計算される場合が多いため、100億円のファンドのリターンも1,000万円のファンドのリターンと同じ様に平均値に影響することになります。しかし、SPIVA 日本スコアカードでは、均等加重平均と資産加重平均の両方を示しています。均等加重平均はファンドの平均パフォーマンスを測定している一方、資産加重平均は投資資金の平均パフォーマンスを測定していると言えます。

- データのクリーニング: SPIVA スコアカードでは、より多くの資産を有するシェア・クラスだけを使用することで、複数のシェア・クラスを二重にカウントすることを避けています。これは、アクティブ・マネージャーのためのスコアカードとなるように意図されているため、インデックス・ファンドや、レバレッジド・ファンド及びインバース・ファンド、その他の指数連動商品は除外されています。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス、またはその関連会社はいずれも、インデックス・ファンドまたはアクティブ・ファンドに投資することの適切性に関して保証を行わず、または投資推奨も行いません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、投資ファンド、または第三者が提供する投資ビークル及び指数のパフォーマンスに基づく投資リターンを提供することを目指し投資ビークルを提案、推奨、販売、または促進することはありません。SPIVA 日本スコアカードは、SPIVA メソドロジーに従う統計資料を年 2 回発行し、統計資料の分析概要を提供します。さらに、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、このレポートの読者が SPIVA メソドロジーにも目を通し、データの抽出方法について理解することをお勧めします。

レポート

レポート 1: ベンチマーク指数をアンダーパフォームしたアクティブ・ファンドの割合				
アクティブ・ファンド・カテゴリー	比較対象指数 (ベンチマーク)	1年(%)	3年(%)	5年(%)
日本の大型株ファンド	S&P/TOPIX 150 指数	71.62	67.92	65.89
日本の中型株ファンド	S&P 日本中型株 100 指数	55.17	56.36	52.63
日本の小型株ファンド	S&P 日本小型株 250 指数	81.25	42.86	49.50
全ての日本株ファンド	S&P 日本 500 指数	71.89	65.60	63.24
米国株ファンド	S&P 500	87.79	74.07	90.63
グローバル株式ファンド	S&P グローバル 1200 指数	81.53	82.94	90.91
国際株式ファンド	S&P グローバル(日本を除く) 1200 指数	62.96	61.11	90.00
新興国株式ファンド	S&P エマージング BMI 指数	61.14	60.49	65.60

出所: S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、モーニングスター。2015年6月30日現在。チャート及び表は説明目的のために提示されています。過去のパフォーマンスは将来の成果を保証するものではありません。

レポート 2: アクティブ・ファンドの生存率及びスタイルの一貫性		
ファンド・カテゴリー	開始時点のファンド数	生存率(%)
1年		
日本の大型株ファンド	300	94.67
日本の中型株ファンド	60	95.00
日本の小型株ファンド	81	98.77
全ての日本株ファンド	441	95.46
米国株ファンド	133	96.99
グローバル株式ファンド	257	94.55
国際株式ファンド	54	100.00
新興国株式ファンド	181	93.37
3年		
日本の大型株ファンド	294	85.03
日本の中型株ファンド	56	82.14
日本の小型株ファンド	92	82.61
全ての日本株ファンド	442	84.16
米国株ファンド	55	94.55
グローバル株式ファンド	219	84.93
国際株式ファンド	54	96.30
新興国株式ファンド	168	86.90
5年		
日本の大型株ファンド	300	79.33
日本の中型株ファンド	58	72.41
日本の小型株ファンド	102	71.57
全ての日本株ファンド	460	76.74
米国株ファンド	33	72.73
グローバル株式ファンド	173	73.99
国際株式ファンド	60	81.67
新興国株式ファンド	126	88.10

出所: S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、モーニングスター。2015年6月30日現在。チャート及び表は説明目的のために提示されています。過去のパフォーマンスは将来の成果を保証するものではありません。

レポート 3: アクティブ・ファンドの平均パフォーマンス(均等加重)とそのベンチマークのパフォーマンス			
指数/ピアグループ	1年(%)	3年(年率換算)(%)	5年(年率換算)(%)
S&P/TOPIX 150 指数	31.85	30.98	16.26
日本の大型株ファンド	30.74	30.76	16.33
S&P 日本中型株 100 指数	30.79	32.88	16.74
日本の中型株ファンド	29.07	34.14	18.48
S&P 日本小型株 250 指数	33.04	32.74	18.50
日本の小型株ファンド	25.77	36.16	21.47
S&P 日本 500 指数	31.86	31.46	16.59
全ての日本株ファンド	29.63	32.35	17.73
S&P 500	29.75	35.28	25.20
米国株ファンド	12.38	25.64	17.50
S&P グローバル 1200 指数	22.85	31.94	20.99
グローバル株式ファンド	11.15	23.49	14.25
S&P グローバル 1200(除く日本)指数	22.12	31.99	21.38
国際株式ファンド	17.19	29.06	17.67
S&P エマージング BMI 指数	17.43	21.55	11.32
新興国株式ファンド	13.23	20.12	9.55

出所: S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、モーニングスター。2015年6月30日現在。全てリターンは円ベース。チャート及び表は説明目的のために提示されています。過去のパフォーマンスは将来の成果を保証するものではありません。

レポート 4: アクティブ・ファンドの平均パフォーマンス(資産加重)とそのベンチマークのパフォーマンス			
指数/ピアグループ	1年(%)	3年(年率換算)(%)	5年(年率換算)(%)
S&P/TOPIX 150 指数	31.85	30.98	16.26
日本の大型株ファンド	30.18	30.34	15.98
S&P 日本中型株 100 指数	30.79	32.88	16.74
日本の中型株ファンド	28.73	31.50	16.84
S&P 日本小型株 250 指数	33.04	32.74	18.50
日本の小型株ファンド	20.15	33.67	20.17
S&P 日本 500 指数	31.86	31.46	16.59
全ての日本株ファンド	28.46	31.12	16.71
S&P 500	29.75	35.28	25.20
米国株ファンド	7.27	21.14	14.07
S&P グローバル 1200 指数	22.85	31.94	20.99
グローバル株式ファンド	13.45	24.91	15.19
S&P グローバル 1200(除く日本)指数	22.12	31.99	21.38
国際株式ファンド	19.57	30.96	18.61
S&P エマージング BMI 指数	17.43	21.55	11.32
新興国株式ファンド	12.16	18.68	8.78

出所: S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、モーニングスター。2015年6月30日現在。全てリターンは円ベース。チャート及び表は説明目的のために提示されています。過去のパフォーマンスは将来の成果を保証するものではありません。

レポート 5: アクティブ・ファンド・パフォーマンスの四分位数の区切り点			
ファンド・カテゴリー	第3四分位数	第2四分位数	第1四分位数
1年			
日本の大型株ファンド	28.22	30.09	32.54
日本の中型株ファンド	25.38	30.09	33.47
日本の小型株ファンド	20.35	28.10	31.44
全ての日本株ファンド	27.39	29.95	32.54
米国株ファンド	0.92	15.41	25.99
グローバル株式ファンド	1.93	14.53	20.73
国際株式ファンド	14.67	20.39	22.96
新興国株式ファンド	8.70	14.80	21.13
3年			
日本の大型株ファンド	28.93	30.09	31.90
日本の中型株ファンド	30.05	34.20	38.30
日本の小型株ファンド	31.02	36.17	39.36
全ての日本株ファンド	29.15	30.86	34.32
米国株ファンド	20.25	32.55	35.48
グローバル株式ファンド	18.77	26.65	30.32
国際株式ファンド	27.19	31.07	33.73
新興国株式ファンド	17.01	20.47	25.66
5年			
日本の大型株ファンド	15.00	15.97	17.20
日本の中型株ファンド	15.91	18.51	21.10
日本の小型株ファンド	17.67	20.49	24.48
全ての日本株ファンド	15.38	16.47	18.76
米国株ファンド	17.92	22.19	23.57
グローバル株式ファンド	13.06	16.81	19.06
国際株式ファンド	16.96	18.81	20.19
新興国株式ファンド	6.69	10.32	13.01

出所: S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、モーニングスター。2015年6月30日現在。全てリターンは円ベース。チャート及び表は説明目的のために提示されています。過去のパフォーマンスは将来の成果を保証するものではありません

付属資料 A:用語集

SPIVA のスタイル及びモーニングスターのファンド分類

パフォーマンスの測定期間において月末データが入手可能な日本に本籍を置く全てのファンドのデータは、モーニングスターから取得します。このデータには、選択期間における運用継続中の日本のファンドや運用していない日本のファンド（統合されたか、または清算されたファンド）に関する最も包括的なデータが含まれています。ファンドは、モーニングスターのファンド・カテゴリー・システムに基づいて分類されており、SPIVA 日本スコアカードは日本株及び国際株式のカテゴリーをカバーしています。

日本株ファンド

SPIVA 日本スコアカードは、大型株、中型株、小型株など主要な時価総額水準をカバーしています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはモーニングスターのファンド・カテゴリーを使用しており、これにより、ファンド・ポートフォリオの時価総額割り当てが決定されます。

モーニングスターの分類システムでは、スタイルに基づいて日本株ファンドを詳細に分類しています。規模の大きなサンプルを作成し、市場全体にわたり市場ベースのベンチマークと比較を行うために、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはスタイル・ベースのカテゴリーを統合しました。バリューやグロース・スタイルのセグメントは過去 5 年間にわたり一貫して識別できないことから、スタイルに基づく詳細な比較では、サンプル・サイズが制限されると考えられます。

モーニングスター・カテゴリーは、次の様に SPIVA ピアグループにマップされています

日本株ファンド: SPIVA カテゴリー及びモーニングスター・カテゴリー	
SPIVA カテゴリー	モーニングスター・カテゴリー
日本の大型株ファンド	Japan OE Japan Equity Large-Cap Value
	Japan OE Japan Equity Large-Cap Growth
	Japan OE Japan Equity Large-Cap Blend
日本の中型株ファンド	Japan OE Japan Equity Mid-Cap Value
	Japan OE Japan Equity Mid-Cap Growth
	Japan OE Japan Equity Mid-Cap Blend
日本の小型株ファンド	Japan OE Japan Equity Small-Cap Value
	Japan OE Japan Equity Small-Cap Growth
	Japan OE Japan Equity Small-Cap Blend

出所: S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、モーニングスター。チャート及び表は説明目的のために提示されています。

外国株式ファンド

外国株式については、SPIVA 日本スコアカードでは、グローバル資産のアロケーターにとって興味深い4つの主要なカテゴリー（米国、グローバル、国際、新興国ファンド）に基づいてレポートします。

モーニングスター・カテゴリーは、次の様に SPIVA ピアグループにマップされています。

外国株式ファンド: SPIVA カテゴリー及びモーニングスター・カテゴリー	
SPIVA カテゴリー	モーニングスター・カテゴリー
米国株ファンド	Japan OE U.S. Equity
グローバル株式ファンド	Japan OE World Equity
国際株式ファンド	Japan OE World ex-Japan Equity
新興国株式ファンド	Japan OE Emerging Markets Equity-Diversified

出所: S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、モーニングスター。チャート及び表は説明目的のために提示されています。

ベンチマーク

選択されたベンチマークは以下の表に示されています。全ての指数のリターンは円ベースのトータル・リターンです（配当再投資を含む）。ファンドに係る投資費用は、指数のリターンから控除されていません。アクティブ・ファンドのリターンは費用控除後の数値ですが、販売手数料や応募費用についてはリターンから控除されていません。選択されたベンチマークは、それぞれのファンド・ピアグループに分類されるファンドに対して最も一般的に採用されるベンチマークです。場合によっては、以下に定められたベンチマークを採用しないファンドもあります。しかし、大多数のファンドでは、このレポートにおいて割り当てられたベンチマークに基づいてパフォーマンス目標を設定しています。したがって、このレポートでは適切かつ公正な調査を行っていると言えます。

SPIVA カテゴリー及びそれらのベンチマーク	
SPIVA カテゴリー	ベンチマーク指数
日本の大型株ファンド	S&P/TOPIX 150 指数
日本の中型株ファンド	S&P 日本中型株 100 指数
日本の小型株ファンド	S&P 日本小型株 250 指数
全ての日本株ファンド	S&P 日本 500 指数
米国株ファンド	S&P 500
グローバル株式ファンド	S&P グローバル 1200 指数
国際株式ファンド	S&P グローバル(日本を除く) 1200 指数
新興国株式ファンド	S&P エマージング BMI 指数

出所: S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、モーニングスター。チャート及び表は説明目的のために提示されています。

付属資料 B:用語集

指数をアンダーパフォームしたファンドの割合

生存バイアスを補正するため、調査対象期間の期初におけるファンドの数を分母とします。生存しているファンドの中で、指数をアウトパフォームしたファンドの数をカウントします。これにより、指数がアウトパフォームしたファンドの割合を決定します。

生存率(%)

生存率は、調査対象期間の期初に存在しているファンドの中で、期末時点でも運用を継続しているファンドの割合を表します。

均等加重ファンドのパフォーマンス

特定のスタイル・カテゴリーにおける均等加重のリターンは、特定の月におけるカテゴリー内の全てのアクティブ運用ファンドの単純平均リターンを計算することで求められます。

資産加重ファンドのパフォーマンス

特定のスタイル・カテゴリーにおける資産加重のリターンは、特定の月におけるカテゴリー内の全てのアクティブ運用ファンドの加重平均リターンを計算することで求められます。各ファンドのリターンは純資産の合計により加重されます。資産加重リターンは、特定のスタイル・カテゴリーに投資された総金額のリターンをより正確に反映するため、ファンドのカテゴリー・パフォーマンスを示す指標としてより適切であると考えられます。

四分位数の区切り点

一連のデータにおける第 p パーセンタイル値は、そのデータの $p\%$ 以上の値であると同時に、そのデータの $(100-p)\%$ 以下の値となります。言い換えれば、その値とは、その値の $p\%$ より小さい部分と、その値の $(100-p)\%$ より大きい部分の 2 つの部分にそのデータを分ける値となります。第 1 四分位数は第 75 パーセンタイル値であり、母集団の構成要素を下位の 75% と上位の 25% に分ける値となります。第 2 四分位数は第 50 パーセンタイル値であり、第 3 四分位数は第 25 パーセンタイル値となります。特定の期間におけるファンドのカテゴリー四分位数を決定する上で、ファンドの最大シェア・クラスのリターンから報酬(販売手数料を除く)を控除したデータが利用されています。

生存者バイアス

調査対象期間中に清算されるファンドや、他のファンドと統合されるファンドは数多くあります。通常、ファンドのパフォーマンスが長期にわたり低迷した場合に、こうした状況が起こります。したがって、運用が継続されているファンドのデータのみを利用して、指数のリターンとファンドのリターンを比較した場合、ファンド・カテゴリーが有利となり、公正な比較とはなりません。したがって、このレポートでは、こうしたバイアスを排除するために、(a)アウトパフォーマンスの計算の分母として、期初における特定のカテゴリー内の全てのファンドから構成される全体の投資機会セットを利用し、(b)各カテゴリー内で生存率を明確に示し、(c)期初において存在する全ファンドに基づき、各カテゴリーのピアグループの平均リターン・シリーズを構築します。

報酬

ファンドのリターンは、報酬(販売手数料を除く)を控除した後のものとなります。

指数

ベンチマーク指数は投資ビークルを提供し、これを基準にファンドのパフォーマンスを測ることが可能となります。

S&P/TOPIX 150 指数

S&P/TOPIX 150 指数は、日本の大型株ユニバースのパフォーマンスに連動するように設計されています。この指数は、極めて流動性の高い 150 銘柄から構成されており、日本市場の世界産業分類基準(GICS®)の各セクターにおける大手優良企業が組入対象銘柄となっています。

S&P 日本中型株 100 指数

S&P 日本中型株 100 指数は、日本の中型株ユニバースのパフォーマンスに連動するように設計されています。構成銘柄は、東京、大阪、または JASDAQ の証券取引所に上場している適格企業から選出されます。データは、東洋経済新報社の包括的データベースに基づいています。この指数は、中型株セグメントへのエクスポージャーを投資家に提供するために幅広いセクターの銘柄から構成されている一方、投資可能な指数となるように流動性にも配慮しています。

S&P 日本小型株 250 指数

S&P 日本小型株 250 指数は、日本株式の小型株セグメントのパフォーマンスに連動するように設計されています。構成銘柄は、東京、大阪、または JASDAQ の証券取引所に上場している適格企業から選出されます。データは、東洋経済新報社の包括的データベースに基づいています。この指数は、市場の小型株セグメントをカバーするために幅広いセクターの銘柄から構成されている一方、投資可能な指数となるように流動性にも配慮しています。

S&P 日本 500 指数

S&P 日本 500 指数は、日本市場のパフォーマンスに連動するように設計されています。指数構成銘柄は、東京、大阪、または JASDAQ の証券取引所に上場している適格企業から選出されます。データは、東洋経済新報社の包括的データベースに基づいています。構成銘柄は、日本の株式市場における大型株、中型株、小型株をカバーしています。

S&P 500

S&P 500 は米国市場の代表的な株価指数です。この指数は時価総額加重方式を用いて算出され、米国経済の主要業種における 500 社から構成されており、米国株式市場の時価総額の 80%をカバーしています。

S&P グローバル 1200 指数

S&P グローバル 1200 指数は世界の株式時価総額の約 70%をカバーしており、7つの主要株価指数で構成され、各指数はそれぞれの地域で代表的な指数として受け入れられています。7つの指数とは、S&P 500(米国)、S&P 欧州 350 指数(欧州)、S&P/Topix 150 指数(日本)、S&P/TSX 60 指数(カナダ)、S&P/ASX オール・オーストラリアン 50 指数(オーストラリア)、S&P アジア 50 指数(日本を除くアジア)、S&P ラテンアメリカ 40 指数(ラテンアメリカ)となります。

S&P グローバル 1200(除く日本)指数

S&P グローバル 1200(除く日本)指数は 6つの主要株価指数で構成されており、その多くはそれぞれの地域で代表的な指数として受け入れられています。6つの指数とは、S&P 500(米国)、S&P 欧州 350 指数(欧州)、S&P/TSX 60 指数(カナダ)、S&P/ASX オール・オーストラリアン 50 指数(オーストラリア)、S&P アジア 50 指数(日本を除くアジア)、S&P ラテンアメリカ 40 指数(ラテンアメリカ)となります。

S&P エマージング総合指数

S&P エマージング総合指数は、S&P グローバル総合指数の中でエマージング市場に本拠地を置く全ての企業をカバーしています。ただし、浮動株調整後時価総額が 1 億ドル以上で、年間取引高が 5,000 万ドル以上の銘柄が組入対象となります。

インデックス リサーチ・デザイン部門 問い合わせ先

グローバルヘッド

Keith Loggie	keith.loggie@spdji.com
--------------	------------------------

ニューヨーク

Vishal Arora	vishal.arora@spdji.com
Phillip Brzenk	phillip.brzenk@spdji.com
Qing Li	qing.li@spdji.com
Berlinda Liu	berlinda.liu@spdji.com
Aye Soe	aye.soe@spdji.com
Peter Tsui	peter.tsui@spdji.com

北京

Liyu Zeng	liyu.zeng@spdji.com
-----------	---------------------

香港

Priscilla Luk	priscilla.luk@spdji.com
---------------	-------------------------

インド

Utkarsh Agrawal	utkarsh.agrawal@spdji.com
-----------------	---------------------------

ロンドン

Sunjiv Mainie	sunjiv.mainie@spdji.com
Daniel Ung	daniel.ung@spdji.com

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスについて

マグロウヒル・フィナンシャルのグループ会社である S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数ベースのコンセプト、データおよびリサーチを提供する世界最大のグローバル・リソース企業である。金融市場の代表的指標である S&P 500[®]およびダウ・ジョーンズ工業株平均[™]をはじめとして、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、機関投資家や個人投資家のニーズを満たす革新的で透明性のあるソリューションを 115 年以上にわたり構築してきました。当社の指数に基づく金融商品に投資される資産額は、世界の指数プロバイダーの中で最大規模となっています。広範なアセット・クラスをカバーする 1,000,000 超の指数により、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、投資家が市場を測定し売買する方法を定義しています。当社についての詳細は www.spdji.com まで。

免責事項

©2015 ザ・マグロウヒル・フィナンシャルの一部門である S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC 2014 年。不許複製。Standard & Poor's、S&P、は、マグロウヒル・フィナンシャルの一部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービシーズ LLC (以下「S&P」) の登録商標です。「ダウ・ジョーンズ」は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングス LLC (以下「ダウ・ジョーンズ」) の登録商標です。商標は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC にライセンス供与されています。本資料の全体または一部の再配布、複製、そして(または)複写を書面による承諾なしに行うことを禁じます。本資料は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、ダウ・ジョーンズ、S&P 或いはそれぞれの関連会社(これらを合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス」という)が必要なライセンスを持たない地域におけるサービスの提供を行うものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC が提供する全ての情報は、個人とは無関係であり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整したものでもありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、その指数を第三者にライセンス供与することに関連した報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表すアセット・クラスへのエクスポージャーは、指数に基づく投資可能商品を通して得られます。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、第三者が提供し、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数のリターンに基づく投資リターンを提供することを目指す投資ファンド、或いはその他のビークルを提供、推奨、販売、宣伝、或いは運用することはありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数に基づく投資商品が指数のパフォーマンスに正確に連動し、プラスの投資リターンを上げることについて保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC は投資顧問会社ではなく、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルに投資する適否に関して表明することはありません。そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルへの投資決定は、本資料で言及されたいかなる部分も信頼して実行されるべきではありません。そうしたファンド或いはその他のビークルに投資しようとする投資家に対して、投資ファンド或いはその他のビークルの発行体またはその代理人が作成する目論見書または類似文書に記載されているように、そうしたファンドへの投資に伴うリスクを注意深く検討した上で投資することを助言します。指数への証券の組入は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによるその証券の買い、売り、または保有の推奨ではなく、また投資助言でもありません。S&P の米国のベンチマーク指数及びダウ・ジョーンズの米国のベンチマーク指数の終値は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが、指数構成銘柄の各主要取引所が設定する終値に基づいて計算します。終値は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスがサードパーティ・ベンダーの 1 社から受け取り、別のベンダーから届く価格と比較することにより検証されます。各ベンダーは終値を主要取引所から受け取ります。日中の実時間価格は、2 次検証を経ずに同様に計算されます。

これらの資料は、信頼できると考えられる情報源から一般に公衆が入手できる情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されたものです。本資料に記載されるいかなる内容(指数データ、格付、クレジット関連の分析とデータ、モデル、ソフトウェア、或いはその他のアプリケーションまたはそれからの出力)も他のいかなる部分(以下「内容」という)も、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによる事前の書面による承認なくして、いかなる形式といかなる手段によっても、変更、リバースエンジニアリング、複製または配布、或いはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容を、不法な或いは未認可の目的に使用してはいけません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス及びいかなるサードパーティ・データ・プロバイダー及びライセンサー(合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者」という)も、内容の正確性、完全性、適時性或いは利用可能性を保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる過誤、遺漏についても、原因の如何を問わず、内容を用いて得られた結果について責任を負いません。内容は、「現状」ベースで提供されています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、特定の目的または利用に対する販売可能性または適合性についてのいかなる保証も、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、或いは内容が何らかのソフトウェアまたはハードウェア構成により動作することの保証も、以上を含みそれに限定されない、あらゆる明示的または暗示的保証も拒否します。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連して発生する、いかなる直接的、間接的、偶発的、典型的、補償的、懲罰的、特殊な或いは結果的な損害、費用、経費、法的費用、或いは損失に対しても(逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含みそれに限定されず)、たとえ損害の可能性について事前に通告を受けていようと、責任を負いません。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各事業部の活動の独立性と客観性を維持するために、それぞれの活動を他から隔離しています。その結果、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの一部の事業部は、他の事業部では入手できない情報を保有する可能性があります。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各分析プロセスの中で受け取った非公開情報の機密を守る方針及び手順を確立しています。

さらに、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なサービスを、証券の発行体、投資顧問会社、証券会社、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介業者など多くの組織に提供しています。したがって、これらの組織から報酬その他の経済的便益を受ける可能性があります。これらの組織には、証券やサービスを推奨し、格付け評価し、モデルポートフォリオに組入れ、評価するか別の対応を行う組織が含まれます。

グローバル業種分類基準(GICS[®])は、スタンダード・アンド・プアーズ及び MSCI によって開発され、両社の独占的所有物であり登録商標です。MSCI、スタンダード・アンド・プアーズ及び GICS 業種分類の編纂、計算、作成に関わるその他の当事者のいずれも、係るデータの保証や表現(またはその使用により得られた結果)に関していかなる表明や示唆も行っておらず、そうしたすべての当事者は明示的に、特定の目的に照らした係るデータの独自性、正確性、完全性、販売可能性、適合性に関するいかなる保証も拒否します。前述の内容に制限を加えることなく、いかなる場合も MSCI、スタンダード・アンド・プアーズ及びその関連会社及び GICS 業種分類の作成または編纂に関わるサードパーティは、いかなる直接的、間接的、特殊的、懲罰的、結果的、その他の損害(逸失利益を含む)について、例え損害の可能性について事前に通告を受けていようと、責任を有していません。

Morningstar Direct は Morningstar, Inc. のサービスマークです。